

「取引所為替証拠金取引」リスク説明書

「金融商品の販売等に関する法律」に基づき、取引所為替証拠金取引(市場デリバティブ取引)における重要事項について説明いたします。

「取引所為替証拠金取引」には、下記に掲げるリスクが内在しており、元本や収益が保証されているものではありません。お取引を始める前に、本説明のほか「取引所為替証拠金取引説明書」や取引規定等を良くお読みいただき、必ずお取引の仕組みや内容を十分ご理解され、リスクがあることを把握された上で、お客様ご自身の判断と責任においてお取引いただきますようお願いいたします。

【レバレッジ効果によるリスク】

取引所為替証拠金取引には、レバレッジ(てこの作用)により通常の通貨の売買に比べ大きなリスクが伴います。実際の取引金額に比べて投資元本である取引証拠金の額は小さいため、相対的に大きな建玉を持つこととなり、小さな外国為替レートの動きによってお客様の保有する建玉の評価損益は大きく変動することになります。

【価格変動のリスク】

取引所為替証拠金取引は、為替レートやスワップポイント(金利差調整分)の変動により差損益が発生し、お客様は損失を被る可能性があります。また、実際の取引金額に比べ、少額な証拠金で多額な取引を行うことができますので、大きな利益が期待できる半面、相場が予想に反した場合、短期間のうちに元本割れ若しくは元本を上回る損失を被る可能性もあります。

【システムリスク】

取引所為替証拠金取引はインターネットを利用した電子取引のため、取引所システム又は取引所とお客様を結ぶ通信回線等が正常に作動しないことにより、取引システムに係る処理の遅延、または注文の発注、執行、確認、取消などが行えない可能性があります。

【流動性リスク】

市場での売買高が少ない通貨は保有する建玉を決済することや新たに建玉を作ることが困難になる可能性があります。また、主要国の祝日やニューヨーク市場終了間際、週初めの開始時等、市場の状況によっては外国為替レートの提示や注文の成立が困難となる可能性があります。

以上